



ASSESSMENT OF TECHNOLOGY
FOR BUILDING CONSTRUCTION
GBRC FOUNDATION

GBRC 性能証明 第 04-09 号

建築技術性能証明書

技術名称：SB 耐震杭 e 工法－杭頭部鋼管巻き場所打ちコンクリート杭工法－

申込者：SB 耐震杭協会（同協会の参加企業は、別に示す通りである。）
（代表会社）

地建工業株式会社 代表取締役 田中 理夫
大阪府大阪市北区西天満二丁目 6 番 8 号 堂ビル内

技術概要：本技術は、場所打ちコンクリート杭の杭頭部（フーチング下端）から杭径の 2 倍以上の長さの所要の範囲の外周面に、JIS 規格品である内外周面の平滑な鋼管を付加することによって、その部分の耐震性の向上を図る技術である。

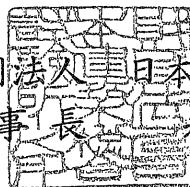
開発趣旨：本技術は、場所打ちコンクリート杭工法として既に確立されている技術を活用し、これの杭頭部外周に JIS 規格鋼管を付加することによって、曲げ及びせん断耐力の向上、変形性能の向上、および、設計自由度の増大を目的として開発されたものである。
本技術の施工上の利点として、杭頭拡大に伴う排土量の増加が避けられる点、過密配筋に伴うコンクリート充填性不良が避けられる点等が挙げられる。

当財団の建築技術認証・証明事業実施要領に基づき、上記の性能証明対象技術の性能について、下記の通り証明する。

2004 年 9 月 7 日

財団法人日本建築総合試験所
理事長 森田 司郎

記



証明方法：申込者より提出された下記の資料に基づき性能証明を行った。

「SB 耐震杭 e 工法（杭頭部鋼管巻き場所打ちコンクリート杭工法）」に関する技術資料
この資料は、第 1 編として申請概要説明があり、工法概要、適用範囲、杭体の性能と仕様、施工方法、施工管理方法が述べられ、かつ、本技術における耐力確認のためのモデル実験結果及び提案耐力式の妥当性を述べている。第 2 編には、「SB 耐震杭 e 工法（杭頭部鋼管巻き場所打ちコンクリート杭工法）設計・施工指針」、さらに付録として施工仕様書及び設計例が示されている。

証明内容：本技術の性能は、以下の通り要約される。（性能の詳細は別添評価報告書に記載）

申込者が提案する「SB 耐震杭 e 工法（杭頭部鋼管巻き場所打ちコンクリート杭工法）設計・施工指針」に基づいて設計施工される杭頭部鋼管巻き場所打ちコンクリート杭は、設計で保証すべき短期許容水平耐力を有し、設計指針に規定している終局水平耐力を有すると判断される。